

2017 年度競技規則変更点 赤字部分＝変更点

ページ	条番号	変更前	変更後
表紙			2017 年度改訂第 25 版
目次	第 1600 条	レーン競技	ジブ競技
競技全種目についての共通規則			
ページ	条番号	変更前	変更後
A-1	第 101 条-2	参加する公認競技会の分類により競技者登録が必要となる。	削除
A-1	第 101 条-3	JSBA 会員および競技者登録の有効期限は1年とし、毎年8月を更新月とする。	削除
A-1	第 102 条 1-1	全日本には、競技者登録しているすべての会員が参加する資格を有する。ただし、プロ登録会員を除く。	全日本には、 競技本部および地区により選抜された すべての会員が参加する資格を有する。ただし、プロ登録会員を除く。
A-1	第 102 条 2-2	地区大会には、開催地区の競技者登録会員であり、なおかつ各地区で定めるチーム登録規定により登録されたチームのメンバーに限り参加することができる。但し、プロ登録会員を除く。	地区大会には、開催地区の 会員 であり、なおかつ各地区で定めるチーム登録規定により登録されたチームのメンバーに限り参加することができる。但し、プロ登録会員を除く。
A-1	第 102 条 3-2	グレード1(以下G1と略す)公認大会には、競技者登録者または一般会員が参加することができる。ただし、プロ登録会員を除く。	グレード1(以下G1と略す)公認大会には、 すべての会員 が参加することができる。ただし、プロ登録会員を除く。
A-1	第 102 条 3-3	グレード2(以下、G2と略す)及びグレード3(以下、G3と略す)公認大会には、競技者登録者、一般会員または非会員が参加することができる。ただし、プロ登録会員を除く。	グレード2(以下、G2と略す)及びグレード3(以下、G3と略す)公認大会には、 会員または非会員 が参加することができる。ただし、プロ登録会員を除く。
A-1	第 102 条 5-1	JSBA に登録されているプロ競技登録者が、海外の競技者と共に競技する。	JSBA に登録されている プロ登録会員 が、海外の競技者と共に競技する。
A-2	第 103 条 1-2	フリースタイルの部 次の2競技種目を、フリースタイルの部とする。 <input type="checkbox"/> ハーフパイプ 略号 (HP) <input type="checkbox"/> スロープスタイル 略号 (SS)	フリースタイルの部 次の 5 競技種目を、フリースタイルの部とする。 <input type="checkbox"/> ハーフパイプ 略号 (HP) <input type="checkbox"/> スロープスタイル 略号 (SS) <input type="checkbox"/> ストレートジャンプ 略号 (SJ) <input type="checkbox"/> クォーターパイプ 略号 (QP) <input type="checkbox"/> ジブ 略号 (JB)
A-2	第 103 条 2-1	次の 10 のカテゴリーを設ける。 <input type="checkbox"/> 一般男子の部 <input type="checkbox"/> 一般女子の部 <input type="checkbox"/> ジュニア男子の部 <input type="checkbox"/> ジュニア女子の部 <input type="checkbox"/> ユース男子の部 <input type="checkbox"/> ユース女子の部 <input type="checkbox"/> シニアメン男子の部 <input type="checkbox"/> シニアメン女子の部 <input type="checkbox"/> シニア男子の部 <input type="checkbox"/> シニア女子の部	次の 10 の年齢カテゴリーを設け、 ポイントランキングの対象カテゴリーとする。ただし、主催者の都合によって、別途年齢別カテゴリーが設けられる場合もあるが、ポイント対象とはならない。 <input type="checkbox"/> オープン 男子の部 <input type="checkbox"/> オープン 女子の部 <input type="checkbox"/> ジュニア男子の部 <input type="checkbox"/> ジュニア女子の部 <input type="checkbox"/> ユース男子の部 <input type="checkbox"/> ユース女子の部 <input type="checkbox"/> シニアメン男子の部 <input type="checkbox"/> シニアメン女子の部 <input type="checkbox"/> シニア男子の部 <input type="checkbox"/> シニア女子の部
A-3	第 109 条	映写権 競技中における競技者の肖像権は、JSBA に帰属するものとする。ただし、プロ登録者を除く。	肖像権 競技中における競技者の肖像権は、JSBA に帰属するものとする。 ただし、プロ登録者を除く。(削除)
A-5	第 116 条 1-1	競技者は、JSBA 会員でなければならない。	削除 (以降の条番号を繰り上げ)
A-6	第 117 条-3	すべての競技者はインスペクション、公式練習、競技中にスノーボード・スキー用セーフティヘルメットを着用しなければならない。ヘルメットの着用方法はメーカー推奨に従わなければならない。ただし、アルパイン競技のインスペクションにおいてはこの限りではない。	-1 すべての競技者はインスペクション、公式練習、競技中にスノーボード・スキー用セーフティヘルメットを着用しなければならない。ヘルメットの着用方法はメーカー推奨に従わなければならない。ただし、アルパイン競技のインスペクションにおいてはこの限りではない。 ヘルメットは、ASTM F2040・US2040、CEN 1077、CSA Z263.1、SNELL S98・RS98、SG などのスノーボードでの使用を想定した規格に適合した製品であること。メーカー推奨の使用期間を過ぎたもの、外観上の破損が確認できるものの使用は認めない。

			なお、一度大きな衝撃を受けたヘルメットは、外観に異常がなくても保護能力が低下している場合がある。ヘルメット製造者、あるいはヘルメット製造者が指定した工場、代理店などに専門的判断を委ねること。
A-6	第 117 条-3	新設	-2 競技中にヘルメットが破損、あるいはズレや脱落等により頭部が適切に保護されていない状態での滑走は許されず、その時点で滑走を中止しなければならない。
競技会の運営の共通規則			
ページ	条番号	変更前	変更後
A-12	第 204 条-2-2-3	各回後、主審の検査表の確認と署名。	各回後、主審決定報告書の確認。
A-15	第 205 条	ジュリー(裁定委員会) -1 構成員 各競技会のジュリーメンバーは下表に従い構成される。	ジュリー(裁定委員会) -1 構成員 各競技会のジュリーメンバーは、TS・競技委員長・主審(ヘッドジャッジ)の 3 名で構成される。 (大会種別とジュリーメンバー構成表を削除)
A-16	第 205 条 3-4	スタート、フィニッシュ両審判は、公式練習中と競技中それぞれの場所にとどまらなければならない。また、他のジュリー・メンバーは、コース全長にわたり、コースに添って配置していなければならない。	公式練習中と競技中、ジュリー・メンバーは、コース全長にわたりコースに添って配置するか、常に競技会の進行を確認できる手段を講じなければならない。
競技の進行に関する共通規則			
ページ	条番号	変更前	変更後
A-20	第 407 条-1	すべての公式発表には、必ず TS の署名がなくてはならない。	すべての公式発表には、必ずジュリーの確認がなくてはならない。
A-20	第 408 条-1	放送もしくは公式掲示板に掲示された成績は、TS の署名がないかぎり、非公式である。	公式掲示板に掲示された成績は、ジュリーメンバーの署名がないかぎり、非公式である。
スノーボードクロス競技(SX)			
ページ	条番号	変更前	変更後
A-46	第 1201 条-4	次のカテゴリを設ける。 <input type="checkbox"/> 一般男子の部 <input type="checkbox"/> 一般女子の部 <input type="checkbox"/> ジュニア男子の部 <input type="checkbox"/> ジュニア女子の部 <input type="checkbox"/> シニアメン男子の部 ※ユース競技者登録者(対象年齢者を含む)は出場できない	次のカテゴリを設ける。 <input type="checkbox"/> オープン男子の部 <input type="checkbox"/> オープン女子の部 <input type="checkbox"/> ジュニア男子の部 <input type="checkbox"/> ジュニア女子の部 <input type="checkbox"/> シニアメン男子の部 ※ユース登録者(対象年齢者を含む)は出場できない
スロープスタイル競技			
ページ	条番号	変更前	変更後
A-54	第 1301 条-2	次のカテゴリを設ける。 <input type="checkbox"/> 一般男子の部 <input type="checkbox"/> 一般女子の部 <input type="checkbox"/> ジュニア男子の部 <input type="checkbox"/> ジュニア女子の部 ※ユース競技者登録者(対象年齢者を含む)は出場できない。	次のカテゴリを設ける。 <input type="checkbox"/> オープン男子の部 <input type="checkbox"/> オープン女子の部 <input type="checkbox"/> ジュニア男子の部 <input type="checkbox"/> ジュニア女子の部 ※ユース登録者(対象年齢者を含む)は出場できない。
A-56	第 1306 条-6	公式練習は最低でも競技会当日参加選手全員が 1 本は行うこと。	インスペクションは参加選手全員が行うこと。
ストレートジャンプ競技			
ページ	条番号	変更前	変更後
A-61	第 1401 条-2	次のカテゴリを設ける。 <input type="checkbox"/> 一般男子の部 <input type="checkbox"/> 一般女子の部 <input type="checkbox"/> ジュニア男子の部 <input type="checkbox"/> ジュニア女子の部 ※ユース競技者登録者(対象年齢者を含む)は出場できない。	次のカテゴリを設ける。 <input type="checkbox"/> オープン男子の部 <input type="checkbox"/> オープン女子の部 <input type="checkbox"/> ジュニア男子の部 <input type="checkbox"/> ジュニア女子の部 ※ユース登録者(対象年齢者を含む)は出場できない。
A-63	第 1406 条-6	公式練習は最低でも競技会当日参加選手全員が 1 本は行うこと。	インスペクションは参加選手全員が行うこと。
クォーターパイプ競技			
ページ	条番号	変更前	変更後

A-68	第 1501 条-2	次のカテゴリーを設ける。 □一般男子の部 □一般女子の部 □ジュニア男子の部 □ジュニア女子の部 ※ユース競技者登録者(対象年齢者を含む)は出場できない。	次のカテゴリーを設ける。 □ オープン 男子の部 □ オープン 女子の部 □ジュニア男子の部 □ジュニア女子の部 ※ユース 登録者 (対象年齢者を含む)は出場できない。
A-70	第 1506 条-6	公式練習は最低でも競技会当日参加選手全員が 1 本は行うこと。	インスペクションは参加選手全員が行うこと。
ルール競技			
ページ	条番号	変更前	変更後
A-75	第 1600 条	ルール競技	ジブ 競技
A-75	第 1601 条-1	ルール競技とは、スライディング・オブスタクル(ルールやボックス等)を1つ以上設置したコースで、各々の競技者が演技を行い、その優劣を競う競技である。	ジブ 競技とは、スライディング・オブスタクル(ルールやボックス等)を1つ以上設置したコースで、各々の競技者が演技を行い、その優劣を競う競技である。
A-75	第 1601 条-2	次のカテゴリーを設ける。 □一般男子の部 □一般女子の部 □ジュニア男子の部 □ジュニア女子の部 ※ユース競技者登録者(対象年齢者を含む)は出場できない。	次のカテゴリーを設ける。 □ オープン 男子の部 □ オープン 女子の部 □ジュニア男子の部 □ジュニア女子の部 ※ユース 登録者 (対象年齢者を含む)は出場できない。
A-75	第 1602 条-1	ルール・コースは、下記の基準を満たし、競技者のレベルに合わせ造成すること。	ジブ ・コースは、下記の基準を満たし、競技者のレベルに合わせ造成すること。
A-75	第 1602 条-2	ルール・コースはフォールラインに対して左右に傾かないようオブスタクルを設置しなければならない。	ジブ ・コースはフォールラインに対して左右に傾かないようオブスタクルを設置しなければならない。
A-75	第 1603 条-1	ルール・コースは JSBA 競技規則に合致しなければならない。	ジブ ・コースは JSBA 競技規則に合致しなければならない。
A-77	第 1606 条-6	公式練習は最低でも競技会当日参加選手全員が 1 本は行うこと。	インスペクションは参加選手全員が行うこと。
A-77	第 1607 条-1	ルールの予選はヒート、カット・ダウン、もしくはトライアル方式で行われる。	ジブ の予選はヒート、カット・ダウン、もしくはトライアル方式で行われる。
A-78	第 1608 条-1	ルールのファイナルはベスト・ポイント、ジャム・ランキング、K.O.方式で行われる。	ジブ のファイナルはベスト・ポイント、ジャム・ランキング、K.O.方式で行われる。
A-79	第 1610 条-1	ルール競技に於けるスタート合図は、ヘッド・ジャッジの採点準備確認の後、スタート審判の声“Ready, Go!”とする。スタート指示無視はジュリー判断とする。再走の場合、その出走順はヘッド・ジャッジの判断による。	ジブ 競技に於けるスタート合図は、ヘッド・ジャッジの採点準備確認の後、スタート審判の声“Ready, Go!”とする。スタート指示無視はジュリー判断とする。再走の場合、その出走順はヘッド・ジャッジの判断による。
A-80	第 1613 条-1	ルール競技では3名以上のジャッジを用意しなければならない。	ジブ 競技では3名以上のジャッジを用意しなければならない。

2017 年度運営マニュアル変更点 赤字部分=変更点

ページ	条番号	変更前	変更後
表紙			2017 年度改訂第 25 版
3. 組織委員会 (THE ORGANIZING COMMITTEE)			
ページ	条番号	変更前	変更後
B-5	エントリー用紙には次の要項を必ず入れること。【第 107 条】	④会員登録番号(公認大会の場合は、一般会員のエントリーも認められる)	④ 会員番号
B-5	公式成績表の作成。【第 112 条】	⑧競技者の競技者登録番号、氏名およびビブ番号 ⑪TSの署名	⑧競技者の 会員番号 、氏名およびビブ番号 ⑪ ジュリー の署名
B-6	(3)セクレタリー(事務局長)	* 事前準備 □競技登録者であるかどうかの確認	* 事前準備 □ 会員 であるかどうかの確認
4. 競技委員会 (THE RACE COMMITTEE)			
ページ	条番号	変更前	変更後
B-11	(2)競技係長	競技係長「そのスキー場を管轄する地区協会の競技役員」「ジュリーメンバー」	競技係長「そのスキー場を管轄する地区協会の競技役員」 (削除→「ジュリーメンバー」)
B-16	(9)副審	副審「ジュリーメンバー」	副審(削除→「ジュリーメンバー」)
B-16	(11)スタート審判	スタート審判「ジュリーメンバー・ただし投票権はない」	スタート審判(削除→「ジュリーメンバー・ただし投票権はない」)
B-17	(12)フィニッシュ審判	フィニッシュ審判「ジュリーメンバー・ただし投票権はない」	フィニッシュ審判(削除→「ジュリーメンバー・ただし投票権はない」)
5. 裁定委員会 (THE JURY)			
ページ	条番号	変更前	変更後
B-20	裁定委員会 (THE JURY)	各競技会のジュリーメンバーは下表に従い構成される。	各競技会のジュリーメンバーは、TS・競技委員長・主審(ヘッドジャッジ)の3名で構成される。 (大会種別とジュリーメンバー構成表を削除)
B-21	競技会期中のジュリーの権限と任務	・投票権を有する5人のジュリーは常にコース全般に位置し、お互いに連絡を取り合わなくてはならない。 ・競技会中、常に会場全域にわたって有効な無線装置を携帯しなければならない。	・投票権を有する3人のジュリーは常にコース全般に位置するか、即時に互いに連絡を取り合う方法を講じなくてはならない。 ・競技会中、常に会場全域にわたって有効な無線装置を携帯しなければならない。 ・公式掲示板に発表する、すべての書類の確認。
8. 通信連絡図・連絡内容			
ページ	条番号	変更前	変更後
B-24	(1)競技運営系:	競技の運営に関する情報交換に使用する。 ①TS「ジュリーメンバー」 ②競技委員長「ジュリーメンバー」 ③主審「ジュリーメンバー」 ④副審「ジュリーメンバー」 ⑤コース係長「ジュリーメンバー」 ⑥スタート審判「ジュリーメンバー」 ⑦フィニッシュ審判「ジュリーメンバー」	競技の運営に関する情報交換に使用する。 ①TS「ジュリーメンバー」 ②競技委員長「ジュリーメンバー」 ③主審「ジュリーメンバー」 ④ 副審 ⑤ コース係長 ⑥ スタート審判 ⑦ フィニッシュ審判
B-24	(2)競技進行系 AL系種目	:A系統 競技を迅速に進行し、成績出しを速やかに行うために使用される。 ①スタート審判 ②フィニッシュ審判 ③主審 ④旗門審判長 ⑤計時計算係長 ⑥TS「ジュリーメンバー」(通常、受信のみ) ⑦競技委員長「ジュリーメンバー」(通常、受信のみ) ⑧レースセクレタリー(通常、受信のみ)	:A系統 競技を迅速に進行し、成績出しを速やかに行うために使用される。 ①スタート審判 ②フィニッシュ審判 ③主審 「ジュリーメンバー」 ④旗門審判長 ⑤計時計算係長 ⑥TS「ジュリーメンバー」(通常、受信のみ) ⑦競技委員長「ジュリーメンバー」(通常、受信のみ) ⑧レースセクレタリー(通常、受信のみ)

B-25	FS 系種目	競技を迅速に進行し、成績出しを速やかに行うために使用される。 ①スタート審判 ②ヘッドジャッジ ③フィニッシュ審判(通常、受信のみ) ④コース係長(またはコース係員) ⑤計時計算係長(通常、受信のみ) ⑥TS「ジュリーメンバー」(通常、受信のみ) ⑦競技委員長「ジュリーメンバー」(通常、受信のみ) ⑧レースセクレタリー(通常、受信のみ)	競技を迅速に進行し、成績出しを速やかに行うために使用される。 ①スタート審判 ②ヘッドジャッジ「ジュリーメンバー」 ③フィニッシュ審判(通常、受信のみ) ④コース係長(またはコース係員) ⑤計時計算係長(通常、受信のみ) ⑥TS「ジュリーメンバー」(通常、受信のみ) ⑦競技委員長「ジュリーメンバー」(通常、受信のみ) ⑧レースセクレタリー(通常、受信のみ)
------	--------	---	---

10. チーム・キャプテン会議チェックリスト

ページ	条番号	変更前	変更後
B-30		チーム・キャプテン会議チェックリスト	内容差し替え

公認スロープビルダー規程

ページ	条番号	変更前	変更後
B-34		2013年09月01日改訂	2017年09月01日改訂
B-34	第2条	7. JSBA公認プロ競技者でスノーボードクロス競技を専門とし、PSA ASIAの推薦を受けた者	7. JSBA公認プロ登録者でスノーボードクロス競技を専門とし、PSA ASIAの推薦を受けた者

公認セッター規程

ページ	条番号	変更前	変更後
B-36		2013年09月01日改訂	2017年09月01日改訂
B-36	第2条	(1)3. JSBA公認プロ競技者でアルパイン競技を専門とし、PSA ASIAの推薦を受けた者。	(1)3. JSBA公認プロ登録者でアルパイン競技を専門とし、PSA ASIAの推薦を受けた者。
B-36	第2条	(2)3. JSBA公認プロ競技者でアルパイン競技を専門とし、PSA ASIAの推薦を受けた者。	(2)3. JSBA公認プロ登録者でアルパイン競技を専門とし、PSA ASIAの推薦を受けた者。

公認技術審判員規定

ページ	条番号	変更前	変更後
B-42		2013年09月01日改訂	2017年09月01日改訂
B-43	第4条	B級 □JSBA C級ジャッジ取得後、最低1年間の実務経験があること。 □セパレーション・システムの各カテゴリーでのジャッジ経験が、最低各1回以上あること。 □クリニックに参加し、テストに合格すること。	B級 □JSBA C級ジャッジ取得後、1年以上経過し、1回以上の実務経験を有すること。 □JSBA公認プロ登録者でフリースタイル競技を専門とし、PSA ASIAの推薦を受けた者。 □クリニックに参加し、テストに合格すること。

公認プロ規程

ページ	条番号	変更前	変更後
B-46		2016年9月1日改訂	2017年9月1日改訂
B-46	第2条-2	本協会に対しプロ競技者登録を済ませた者。	本協会に対しプロ登録を済ませた者。
B-46	第2条-3-1	(プロ登録資格の条件) 1. その年度の全日本スノーボード選手権大会で開催される公認種目の一般男女1位～3位までの入賞者であること。	(プロ登録資格の条件) 1. その年度の全日本スノーボード選手権大会で開催される公認種目のオープン男女1位～3位までの入賞者であること。
B-46	第2条-3-2	7. プロツアーに特別参加する全ての者は、JSBA競技者登録を完了している者でなければならない。	7. プロツアーに特別参加する全ての者は、JSBA会員登録を完了している者でなければならない。
B-47	第3条-1	公認プロ登録有資格者がプロ登録をする場合、PSA ASIAを通し、本協会へプロ競技者登録料を納めなければならない。	公認プロ登録有資格者がプロ登録をする場合、PSA ASIAを通し、本協会へプロ登録料を納めなければならない。
B-47	第3条-2	プロ競技者登録料は¥10,000とする。	プロ登録料は¥10,000とする。

各種申請料、公認料、登録料、日当一覧

ページ	条番号	変更前	変更後
B-51		競技者登録 毎年1,000円	削除

競技資格一覧

ページ	条番号	変更前	変更後
B-53		スロープビルダー(SB) ⑦JSBA公認プロ競技者でスノーボードクロス競技を専門とし、PSA ASIAの推薦を受けた者。	スロープビルダー(SB) ⑦JSBA公認プロ登録者でスノーボードクロス競技を専門とし、PSA ASIAの推薦を受けた者。

B-54		A級セッター (AS) ③JSBA公認プロ競技者でアルパイン競技を専門とし、PSA ASIAの推薦を受けた者。	A級セッター (AS) ③JSBA公認プロ登録者でアルパイン競技を専門とし、PSA ASIAの推薦を受けた者。
B-55		B級セッター (BS) ③JSBA公認プロ競技者でアルパイン競技を専門とし、PSA ASIAの推薦を受けた者。	B級セッター (BS) ③JSBA公認プロ登録者でアルパイン競技を専門とし、PSA ASIAの推薦を受けた者。
B-55		B級技術審判員 (B級ジャッジ) 下記条件の全てにあたる者 ①JSBA C級ジャッジ取得後、最低1年間の実務経験があること。 ②セパレーション・システムの各カテゴリーでのジャッジ経験が、最低各1回以上あること。 または、JSBA公認プロ競技者でフリースタイル競技を専門とし、PSA ASIAの推薦を受けた者。	B級技術審判員 (B級ジャッジ) 下記条件のいずれかにあたる者 ①JSBA C級ジャッジ取得後、1年以上経過し、1回以上の実務経験を有すること。 ②JSBA公認プロ登録者でフリースタイル競技を専門とし、PSA ASIAの推薦を受けた者。

12. 各種書式

ページ	条番号	変更前	変更後
B-68		TC会議議事録	副審以下の(JURY)を削除
B-71		ジュリー決定議事録	副審以下を削除
B-72		抗議申立書	一般男子・一般女子をオープン男子・オープン女子に変更
B-89		ジュリーチェックリスト	Member欄の副審以下を削除